

いちょう並木

OKAYAMA UNIVERSITY MAGAZINE



OKAYAMA
UNIVERSITY

岡大のノーコード開発 情報発信アプリ&ウェブ 「岡大メディア(OTD)」を開発



CONTENTS

岡山大学の研究誌 認知脳科学 楊家家

広い世界で活躍する岡山大学の学生たち OU NAVI

令和2年度「学生スポーツ賞」と「学生文化奨励賞」受賞者紹介
ありたい未来を共に育み、共に創る「共育共創コモンズ」

Vol. 98

2021

アイデアを形に!

岡大の「ノーコード開発」

ノーコード開発による

大学公認の情報発信アプリ&ウェブ
『岡大メディア(OTD)』を開発!

ITスキルや知識を持たない非エンジニアでもwebサイトやアプリを開発できる技術「ノーコード」をご存知でしょうか。従来の方法と比べ、開発速度が速く、コストも安価。人材不足にも貢献でき、地方の課題解決につながる可能性があるといわれています。

『岡大メディア(OTD)』は、岡山大学SDGsアンバサダーの久保駿貴さん(大学院社会文化科学系研究科1年)がノーコードで開発しました。岡山大学の価値ある情報を届け、可能性を最大化することを目的に、岡大生の運営メンバー6人が記事を更新しています。

現役岡大生の交流の場としてはもちろん、入学希望者に向けた魅力発信、地域の方々を繋ぐメディアとして活用していきます。

岡山大学では、DXや数理データサイエンス教育を推進しており、2021年4月には、データサイエンスとアイデアで新たな価値の創出を目指す、学生団体「DS部」を結成しました。ノーコードでアプリを作るハッカソンを開催するなど、文理や学年の枠を超えて課題解決に挑んでいます。

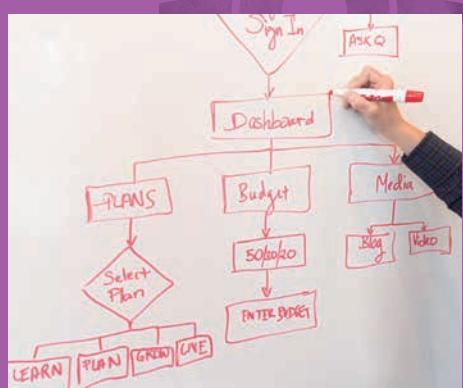


What's NoCode?

コーディング(プログラミングコードを記述する作業)なしでWebサイトやアプリなどを開発する技術。直感的な操作かつ短期間で「誰でもアプリ開発ができる」と、世界的にも注目を集めています。日本では、就職活動の最終面接に落ちた学生を企業間で推薦・採用できるプラットフォーム「ABABA」が話題を呼びました。

ノーコードの メリット

- 1 開発費用が安く、開発速度が速い
- 2 修正速度が速く、バグの改善や機能開発も容易
- 3 IT人材不足に貢献





▼ アプリ版

CONTENTS

- HOME 岡大PICK UP NEWS!や インタビュー企画「岡大生図鑑」、 受験生向けの記事etc…
- NEWS! SDGsの取り組みやお知らせを掲載
- 部活 サークル約120団体の情報を掲載！ 活動内容や部費の情報も
- 研究室 随時更新中。ゼミ・研究室選びの参考に！
- 飲食店 岡大生の胃袋を支える、大学街の飲食店情報
- 相談BOX 履修相談や就活相談、卒論アンケート、研究室配属の相談など。 気軽に相談できる&助け合える場に！



▼ ウェブ版

岡大生や岡大OB・OGに突撃インタビューをする「オモシロ岡大生」や、楽しいキャンパスライフを送るための「岡大マル秘情報」、岡大生の恋愛事情に至るまで…岡大生のリアルな声を包み隠さず配信！

カテゴリー / Categories



＼ アプリ版 /



開発者：久保 駿貴さん

Profile

大学院社会文化科学研究科1年(組織経営専攻)。株式会社ABABA CEO。
採用のエコシステム『ABABA』をノーコードで開発し、2020キャンパスベンチャー
グランプリ全国大会で経済産業大臣賞を受賞。趣味は海外旅行、サッカー観戦、ピアノ。
情報収集はTwitterがメイン。
Twitter:@ABABA_oinori

Comment

ノーコードの魅力は短時間で誰でもアプリやホームページを作れることです。部活動の情報集めやコンテンツの充実の部分を2週間で行うのは大変でしたが、新入生の合格発表に間に合わせたいという思いでアプリを立ち上げました。岡大生への情報発信に留まらず、岡大を目指す高校生や地域の方など幅広く多くの方の興味に留まる情報を発信していきたいです。

＼ ウェブ版 /



「ノーコード」を軸に活躍する

『岡大』「ノーコード」

「ノーコード」を軸に活躍する岡大卒の3人のノーコーダーたち。現在進めているプロジェクトやアイデアの源、今後の展望などについて尋ねました。

ONoCoder

File 01

『デジタル化DIY』で、多くの人のITアレルギーを払拭したい！

藤田 曜子さん

岡山大学法学部卒業。学生時代にアート系の分野で起業し独立。避難所アプリや筋トレ日記アプリなどの開発や、「基礎から学ぶノーコード開発」の書籍を共著するなど、岡山を中心とした活動を広げている。合気道3段、茶道茶名。趣味は、乗馬やスキーユーバーダイビング、旅行などで、一番好きなのは事業。情報収集は、オンライン・オフライン両方から。

HP: <https://yokof88.com/>
Twitter: https://twitter.com/yokof_88



▼現在の仕事について教えてください。

アプリ開発、事業構築運営全般、各種講習会などをしています。ノーコード界隈にいて周りを見ていると、ノーコードに興味を持ち学習し続けられる人たちは、ほとんどがエンジニアリングに興味がある人またはITエンジニアだということに気が付きました。そのため、今は『デジタル化DIY』を広げる、というノーコードの2歩ほど手前の『ITアレルギーを払拭して自分で身の回りのことをデジタル化しよう』という活動や教育事業をしています。

▼アイデアの源は？

もともと起業家気質で、アイデアは山ほど出てくるタイプです。息を吸うように企画やアイデアが湧き出ますのでそこに苦労したことはありません。ただし実現不可能ともいえる壮大な夢を持つてしまう性質ですので、その実現化には世界最先端の情報を常に追っていなければなりませんし、夢の本質を見つけることも重要になってきます。

▼今後の展望を教えてください。

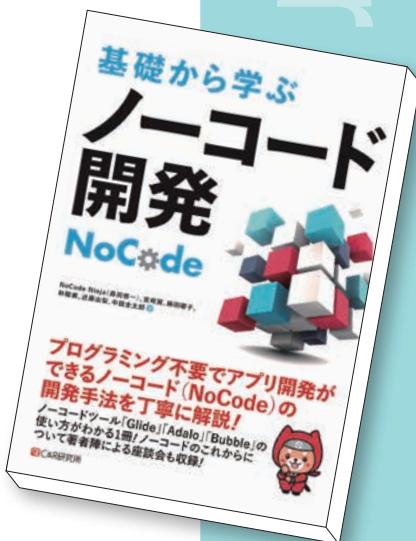
『デジタル化DIY』を広めることです。アナログ人間でも『デジタル化DIY』をはじめの一歩として、デジタル化やITへのアレルギーを無くし、そこからノーコードに移行したりプログラミングやエンジニアリングの扉を開いてほしいと思っています。

▼学生時代について教えてください。

アート系の分野で起業していましたので、その活動に夢中でした。日本中世界中を飛び回り、寝食も忘れて没頭しました。一方で本の虫でしたので、岡大の図書館が好きすぎて「24時間開放・シャワールームもつけてほしい」と要望していたほどでした。政治や芸術を中心に『世界をより良くするには?』をテーマに研究していましたし、今でもそこは変わりません。

message

メタバースな世界はもう始まっています。常に新しい技術や情報への関心を持ち、自分で実際に触れてみる、使ってみる、作ってみるという実験を持つことは大切です。起業家はアレもコレもしなければならないので大忙しになりますが、そこはデジタル化DIYで自動化したり仕組化したりして乗り越えられます。外注するにも自分で一通りやってみたことがある、という経験は大いに活きます。





感情や考えを言語化し発信!
自分しかできない価値提供を

File 03

中田 圭太郎さん

平成31年3月岡山大学工学部卒業。ノーコードの受託開発会社Evlick合同会社を経営。ノーコード専門の日本最大のオンラインサロンで講師を務めるほか、株式会社ABABAのエンジニア(CTO)として自社サービスの開発も行なっている。NoCodeCamp認定Bubbleエキスパート。世界最大ノーコードコミュニティ「Makerpad」主催コンペで日本人唯一入賞経験あり。神戸市在住。情報収集は、SNS(Twitter)がメイン。Twitter:https://twitter.com/NoCoder_K Twitter:https://www.evlick.co.jp/



▼現在の仕事について教えてください。

ノーコードの受託開発会社を経営しています。また、ノーコード専門の日本最大のオンラインサロンで講師を務めるほか、ABABAというスタートアップのエンジニア(CTO)として自社サービスの開発も行なっています。今後はノーコード人材の教育事業などにも力を入れる予定です。

▼企画実現までのモチベーションは?

日々の生活で不便に思うことや、世の中のトレンドで今後伸びると思われる業界などの情報収集をしています。まだ他に誰もやっていないことを成し遂げる達成感を常に持つことがモチベーションの維持に繋がります。Only oneの自分しかできない価値提供を今後も続けたいです。

▼今後の展望を教えてください。

ノーコード(特にBubble)で開発したサービスで、コーディングに劣らないプロダクトを量産し、Bubbleの国内普及を拡大する活動を行いたいです。

▼学生時代について教えてください。

工学部の活動である「学生フォーミュラ」の一員でした。学生だけでフォーミュラカーを設計し、製作・テストを行い、年に1度の全国大会に出場する活動です。広報やスポンサー集めの渉外活動も行い、学生

ながら社会人のような疑似体験をさせてもらいました。社会人になった今も、プロジェクト管理にはこの経験が生きていると思います。また、学生時代に英語学習が染み付いていたため、海外の情報収集も抵抗なくできています。

message

プロフェッショナルであることは大切ですが、その領域を飛び越えて、複数のプロフェッショナルな



他の人材を活用し、目標を達成することができる“巻き込む力”が大切だと思います。つまり、感情や考えを言語化し発信する力が必要ということです。

新しいことにチャレンジし続けることが得意な岡山大学で、学生たちも次々に新しいチャレンジができる文化を作りたいです。学生時代の失敗はその後どんなことがあってもプラスに働く経験値になります!

最新の技術を使って
自分の仕事に
ブレイクスルーを起こす!

File 02

山口 真司さん

平成22年3月岡山大学工学部卒業。岡山県内のベンチャー企業に役員として参画、新規webサービスの開発を行った後、2012年の円高によるオフショア開発チームにのってベトナム・ホーチミンでオフショア開発会社を立ち上げた。プログラマとして個人でアプリ開発・運営をするほか、ノーコードの情報をYouTubeやnoteにて発信。趣味は、筋トレ、プログラミング。情報収集は、Twitter、YouTube、NewsPicks、はてなブックマークから。

Twitter:https://twitter.com/_shinji_



▼現在の仕事について教えてください。

ベトナム・ホーチミンでオフショア開発会社を立ち上げ、プログラマとして個人でアプリ開発・運営をしています。コードを書く形での開発を本業にしているので、ノーコードは趣味の位置付けになりますが、noteやYouTubeやTwitterでノーコードに関する発信を行いました。noteは累計25万アクセス、YouTubeはチャンネル登録者数が1万2千人まで増えました。2021年はノーコードの発信は一旦休止し、コードを書いて作る個人開発プロジェクトに力を入れています。

▼企画実現までのモチベーションは?

自分の経験から得た仮説を検証することに喜びを感じます。ただそれだけだと途中でつらくなってしまうので、モチベーションの源泉を少しずつずらしながら継続しています。例えば公開したプロジェクトに対するユーザーからの反応を見たり、開発そのものをパズルのような感じで楽しんだりといった具合です。

▼今後の展望を教えてください。

まずは個人開発で行っているアプリのユーザーを増やし、海外展開までもっていくところを目標にしています。その後、ノーコードの活動を復活させようと考えています。

▼学生時代について教えてください。

岡山大学祭実行委員会や、ファジアーノ関連のサークル「ファジピスタ」や、うらじやの学生スタッフの立ち上げ、その他イベントなどを運営していました。また、休学してプログラミングを学びながら岡大周辺の飲食店情報サイトを作りました。課外活動に力を入れすぎて留年もしました(笑)。情報系の学科ではありましたが、もっとITについて勉強しておけば良かったなと思っています。



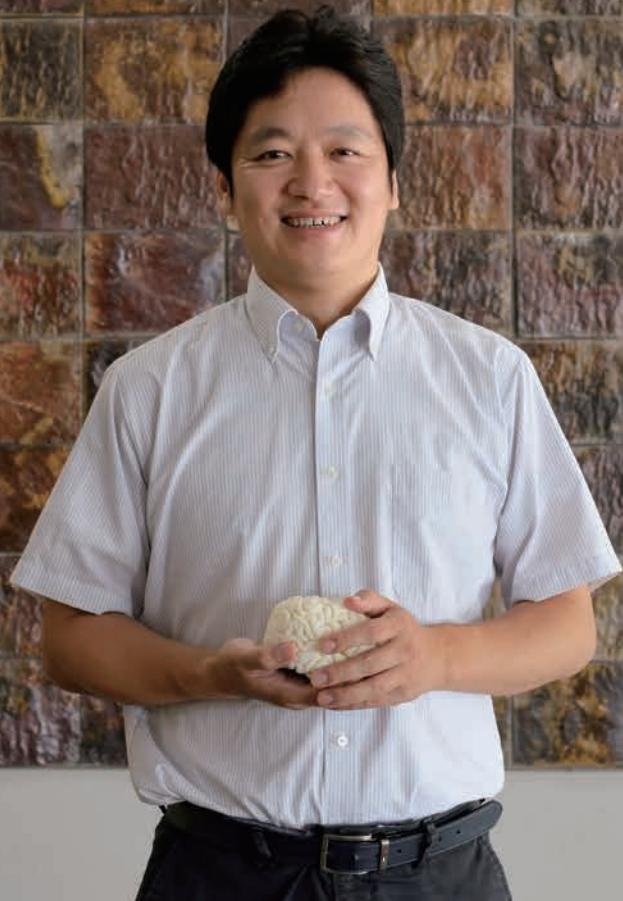
message

これからはAIやIoTの技術を使って、簡単なものでも自分で作れる程度の知識を持った上で、社内だけではなく市場と対話しながら価値あるものを作り出せる人材が求められると思います。ノーコードをきっかけに、ソフトウェア開発を自分でもできるというマインドを持ちながら、最新の技術を使って自分の仕事にブレイクスルーを起こすことができないかというのを常に考えるといいと思います。

また、私は現在、ベトナムを拠点に活動していますが、海外に出ることは大学を卒業していないとビザを取得するのが格段に難しくなるので、岡大生には、まずは大学を卒業することをおすすめします!

忍心知脳科学

楊家家



**最先端の脳イメージング技術を駆使し
謎に満ちたヒト脳の解明に挑む。**

私たちヒトの脳は、約1000億個もの膨大な数の神経細胞が多段階の階層構造を形成する複雑な生体情報処理システムだ。機能素子である神経細胞は、それぞれの階層で神経回路を形成、高度な情報処理を行うことにより、多様な脳機能を可能としている。これまでの研究では、神経回路の破綻が、認知症やうつ病などの神経精神疾患を引き起こすことされ、それゆえに脳の各階層における神経回路の動作原理の理解、それに基づいた病因解明や予防治療法の開発は、世界的に高齢化が加速する今、極めて重要な課題と言われている。

「こうしたなか、長年にわたって『謎多きヒト脳の解明』に挑み続けている楊家家研究准教授は、その研究内容と意図をこう説明する。

「私たち、最先端の『7テスラ超高磁場・機能的磁気共鳴画像法(fMRI)』を駆使して、大脑皮質層間の神経回路機能の理解を通じて、ヒト脳の多階層な機能の解明を目指しています。この

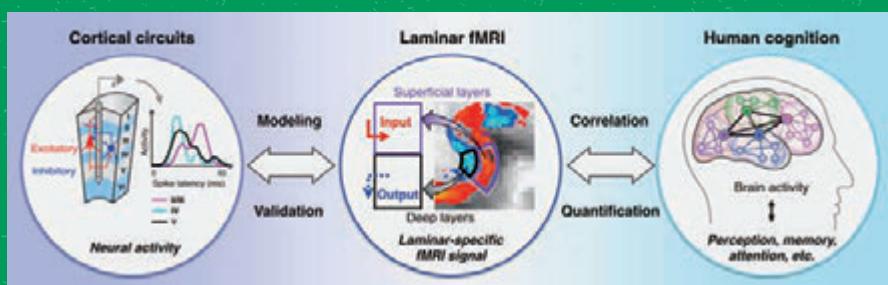
ヒトの大脳表面は、厚さ2~4mm程の灰白質で覆われており、特徴的な形態と役割を持つ神経細胞が6層のレイヤーを成しています。この秩序だった神経回路により、ヒトは学習や記憶といった高度な情報処理を実現していますが、ミクロレベルの脳機能の理解は侵襲を伴う動物研究に頼っているのが現状です。近年、fMRIによる非侵襲脳イメージング技術の発達により、ヒトの様々な精神活動をマクロな脳機能に結びつけて理解することが可能になりましたが、ミクロとマクロ両面からの脳機能の理解という点では、未だ大きなギャップがあります。私たちの

私たちヒトの脳は、約1000億個もの膨大な数の神経細胞が多段階の階層構造を形成する複雑な生体情報処理システムだ。機能素子である神経細胞は、それぞれの階層で神経回路を形成、高度な情報処理を行うことにより、多様な脳機能を可能としている。これまでの研究では、神経回路の破綻が、認知症やうつ病などの神経精神疾患を引き起こすことされ、それゆえに脳の各階層における神経回路の動作原理の理解、それに基づいた病因解明や予防治療法の開発は、世界的に高齢化が加速する今、極めて重要な課題と言われている。

「こうしたなか、長年にわたって『謎多きヒト脳の解明』に挑み続けている楊家家研究准教授は、その研究内容と意図をこう説明する。

「私たち、最先端の『7テスラ超高磁場・機能的磁気共鳴画像法(fMRI)』を駆使して、大脑皮質層間の神経回路機能の理解を通じて、ヒト脳の多階層な機能の解明を目指しています。このヒトの大脳表面は、厚さ2~4mm程の灰白質で覆われており、特徴的な形態と役割を持つ神経細胞が6層のレイヤーを成しています。この秩序だった神経回路により、ヒトは学習や記憶といった高度な情報処理を実現していますが、ミクロレベルの脳機能の理解は侵襲を伴う動物研究に頼っているのが現状です。近年、fMRIによる非侵襲脳イメージング技術の発達により、ヒトの様々な精神活動をマクロな脳機能に結びつけて理解することが可能になりましたが、ミクロとマクロ両面からの脳機能の理解という点では、未だ大きなギャップがあります。私たちの

研究のポイント
1
ミクロからマクロまで、脳機能の階層を超えた統合的理解を目指す



本研究では、ヒトの大脳皮質層の活動を計測できる7TレイヤーfMRI技術を用いて、ミクロとマクロの間のギャップを埋めることが期待できる。また種を超える比較と多階層横断的検証を可能にすることにより、ヒト脳の多階層な機能の解明が期待されている。(Yang et al. Neurosci Biobehav Rev, 2021)

研究のポイント
2
ヒトの第一次体性感覚皮質層別活動パターンの計測に成功



学術研究院ヘルスシステム統合科学学域
研究准教授

楊 家家 (よう かか)

■専門分野／認知脳科学／超高磁場MRI

昭和56年生まれ。中国出身。香川大学大学院工学研究科修了。博士(工学)。岡山大学博士研究員・岡山大学助教・米国国立衛生研究所(NIH)客員研究員などを経て令和3年より現職。中国・四国工学教育貢献賞(平成26年4月)、CME2015優秀論文賞(平成27年6月)、岡山大学工学部研究功績賞(令和2年4月)

本研究は、創発的研究支援事業に採択されました。(令和3年)

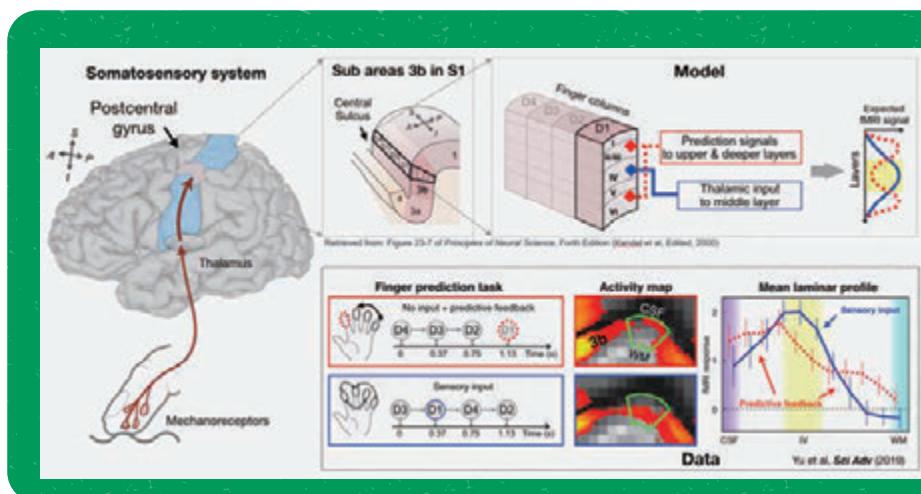
神経変性疾患の病因解明・早期診断・ 予防・治療に向けて。

現在40歳の楊研究准教授。2003年に来日し、香川大学の留学生時代に認知心理学と出会った。「ヒトはどうやって手にするものを見覚・認知しているか」という素朴な疑問を抱きつつ、身の回りにある物の質感に焦点を当てて研究を続け、2010年、岡山大学に着任後は本格的に脳科学の手法を取り入れ、これまでの研究を深めていった。2016年に米国国立衛生研究所(NIH)脳イメージング方法セクションの客員研究員となり、7テスラ超高磁場fMRIを用いたヒト大脳皮質層の活動計測法の開発など、国際共同研究が始動。「高齢化が進む中、認知症をはじめとした疾患でたくさんの人が苦しんでいます。私たちの研究が早期の発見方法や装置の開発など、人々の幸福につながることを信じてこれからも研究に努めたい」と話す楊研究准教授。その温かな瞳に強い意思を感じた。



① 脳波計測に用いるシールドルームを完備。② サルや人の脳の模型も研究に不可欠。
③ 指先で触った情報がどのように視覚・聴覚へ適応・変換しているか、そのメカニズムの解明に挑んでいる。

研究は、そうしたギャップを埋めることができ、種を超える比較と多階層かつ横断的に検証することで、ヒト脳の全容解明を目指しています」。現在、筋萎縮性側索硬化症(ALS)の新たな治療法開発に挑む学術研究院医歯薬学域脳神経内科学の山下徹准教授とも連携し、自らの基礎研究と臨床レベルとの相乗効果を図っている。「いつか、どこかで基礎研究の成果が花開く。どこかで必ず転機が訪れる」と話す楊研究准教授。脳神経疾患の世界では、基礎研究の成果がそのまま臨床に還元されない状況が多く、治療法開発の過程における基礎と臨床の隔たりが大きな問題となっている。そうした意味でも、ヒト脳の謎に多面的に挑む楊研究准教授への期待は益々高まっている。



楊研究准教授たちは、これまで独自に開発したレイヤーfMRI撮像法の高空間分解能を生かして、動物研究の知見を基に提案したヒトの皮質層間の情報処理モデルを検証してきた。その最新成果として、厚さわずか2mm程度のヒト第一次体性感覚皮質の中層に触覚信号が入力され、高次領野からの予測フィードバック信号が上層と深層へ投射されることを明らかにした。

(Yu et al. Sci Adv, 2019)

放送文化部

2つの受賞作に込めた
自らの素直な想い。

全国の大学・短期大学・専門学校などに所属する学生を対象とした放送のコンテスト「第37回NHK全国大学放送コンテスト(通称大学Nコン・またはNコン)」本選が2020年12月5日、京都アスニー(京都市中京区)で開催され、本学放送文化部がラジオ番組部門で1位、映像CM部門で2位に輝いた。同部は前年の同コンテストでも映像番組部門で1位を獲得しており、2年連続の快挙達成となった。今回の本コンテストは、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、事前収録が可能なアナウンス・朗読・音声CM・ラジオ番組・映像CM・映像番組部門に限っての開催となり、全国の71団体が355作品を応募。予選を通過した作品が本選で1位を競い、本学放送文化部は作品『踏み出した先に』がラジオ番組部門46作品の中で1位、作品『伝(つて)』が映像CM部門36作品の中

で2位となつた。

受賞した2作品の企画、編集、ナレーションなど中心メンバーとして

作品作りに携わった越智悠葵さん(法学部3年)が制作への経緯、作品に込めた想いをこう話してくれた。

『踏み出した先に』は、2020年の

6月に本学で行われた『「ロナがなんじや!WIN&WIN学生プロジェクト』に取り組む学生たちの姿を取

活躍する

通

学生たち

第37回NHK全国大学放送コンテストで 1位・2位を獲得!	
放送コンテストで	1位・2位を獲得!



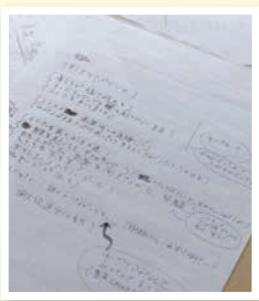
り上げたものです。このプロジェクトは、新型

コロナウイルスの影響を受けた本学の学生と地域の飲食店双方を支援するプロジェクトで、主に同プロジェクトを発案した楳遥希さんの活動にスポットを当て、視聴者に『新しいことを始める勇気』を持つてもらいたい

という願いを込めて作りました」と語る越智さん。もう一つの受賞作『伝』は、越智さん自身がコロナ禍で孤独感を抱えていた頃、作品を通して部員や友人とつながりを感じられた実体験をベースにしたもので、『苦しくても決して自分はひとりじゃない』というメッセージが込められているそうだ。

やりたいことをやる権利を得るために学業にも一生懸命励む。

現在、法学部3年の越智さんは中国で初めて設置された「法曹コース」に在籍中。「法曹コース」は法曹を志す人達に、法学部と法科大学院の間でより効果的な一貫教育を提供することを目指した制度で所定の条件をクリアすることで、3年で大学を早期卒業し、法科大学院の「法学既修者コース(2年)」に入学することが可能だ。ただそれだけに学



思いついたアイデアや企画をサラっと書き留めた越智さんの絵コンテ。素直な言葉が印象的。

越智 悠葵
法学部 3年



業は忙しく、越智さんいわく、「タイムリミットと戦っています。でも自分がやりたいことをやる権利を得るためにも学業にはしっかりと取り組みたい」と自らの想いを話す。ちなみに同じ岡山大学出身の両親には越智家の家訓として「見て盗め、いいものを探る目を持て」と教えられたそう。「いつか、何らかの形で、自分が感じていることを伝える活動がしたい」と将来への夢を語る越智さん。法曹を志す者として、想いを伝える表現者として、その視線は次のステップを見つめている。

ピアノとの出会いは5歳、

以来磨き続けた
技量とメンタル。

広い世界で



岡山大学の

バウトなところが好きです」と続けた。

優美で華麗なショパンの音楽を通じて、国際レベルの演奏家を発掘・育成することを目的とする「ショパン国際ピアノコンクール in ASIA」。

2021年1月18日、第22回となる

当コンクールのファイナルステージで本学医学部医学科5年生(現在6年生)の中田征希さんがショパンピアニスト

B部門で銀賞に輝いた。「コロナ禍という困難な状況下で行われた当コンクール、今回は初のオンライン開催となつたが、中田さんは幼い頃から磨き続けた技量を發揮、地区予選、

全国大会、国際大会進出を決め、今回の快挙に至った。

ピアノとの出会いについて尋ねると、「3歳の時に音楽教室に通い始め、その後、母がピアノを弾いていたこともあって、5歳の時に始めました」と話す中田さん。以来、高校生の時、少し休んだ時期もあったが本学ではピアノ部にも所属し、週1回1時間のレッスンを欠かさず続けてきたとのこと。医学科生としての多忙な学業との両立については「昔から集中力はある方です。コンクールのように人に聴いてもらう、人と競うのも好きです」と晴れやかに笑う。加えて「ピアノは世界的に評価される楽器、スポーツのようにはつきりとした優劣ではありませんが、いい意味でア

第22回 ショパン 国際ピアノコンクール in ASIAで銀賞を受賞!

医学生として、ピアニストとして自分の価値を見出した
大学6年間。

現在、医学部医学科の6年生、今後のことを尋ねると、「医学部を選んだのはたまたま

18歳の時に医学に興味があつたから。将来のこととはまだいろいろ思案中です。卒業後の目標としてはまず医師免許を取得すること。医療人として社会に貢献できる存在になりたい。そのためにもいろいろな面で自分の可

能性を広げていけたらと思っています」と話す中田さん。大学の後輩たちに伝えたいメッセージとしては、「10代から20代にかけては、共に水泳やロッククライミングにも取り組んできたこと。「スポーツは、メンタル的に強くなります。おかげで本番の演奏にも落ち着いて臨めるようになりました」と話す中田さん。ちなみに今回のオンライン開催では、自ら演奏動画を撮影して応募、「10回くらい演奏してその中から良いのを選びました。優勝した方は30回以上トライしたそうですから、根気強さでも負けましたね」と笑う。

さが伝わると話す中田さん。「学生生活の集大成として名誉ある賞を頂けて幸いです。今後も多くの方々に演奏を聞いていただけるよう、自分の音楽と向き合い続けたいと思います」と取材後もピアノの練習に向かう姿が印象的だった。

中田 征希
医学部 6年

ピアノ音

Shikata Piano Forte



少林寺拳法部

● 第10回 少林寺拳法中四国学生冬季大会



澤井 駿輔さん

法学部 3年

この大会は、コロナが流行っている時期に開催されたこともあり、思うような練習時間をとる事ができない中、色々工夫して練習し、臨んだ大会でした。1、2位の方々の演武を参考にこれからも頑張っていきたいです。



竹原 佑太さん

経済学部 3年



江本 祥宜さん

教育学部 3年

大変な情勢ということもあります、なかなか満足に練習することができませんでしたが、周囲の方々のご協力のおかげで、このような賞をいただけて、うれしく思います。今後も精進していきたいです。



宍甘 芽衣さん

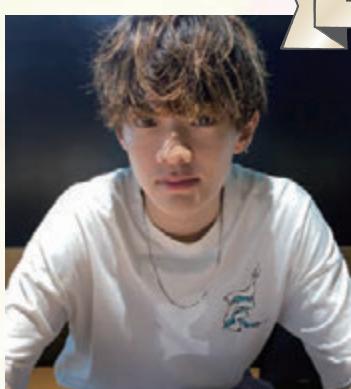
文学部 4年



黒藪 伶奈さん

教育学部 4年

コロナ禍ということもあり、制限が多い中での修練でしたが、先生・先輩方をはじめ、たくさんの方にご協力いただき、修練に励むことが出来ました。今回、大学最後の大会で成績を残すことができ、大変嬉しく思います。



オンライン大学祭の
開催及び運営、
実行委員会の統率

大学祭実行委員長

井上 優人さん

工学部 3年

学生文化奨励賞を受賞し、光栄に存じます。大学祭を開催できたことは私一人の力ではなく、実行委員全員の努力の結果であり、多くの方々のご協力のお陰です。ご協力を賜った皆さんに深謝するとともに、この経験を活かし精進して参ります。

令和2年度 学生スポーツ賞
スポーツ奨励賞



日々奮闘する
岡大生を表彰！

令和2年度

「学生スポーツ賞」& 「学生文化奨励賞」受賞者紹介

岡山大学では、学業や文化活動、スポーツなどで優れた成績を挙げた学生を毎年表彰しています。正課外スポーツ活動において優秀な成績を収めた個人・団体を表彰する「学生スポーツ賞」、正課外文化活動において優秀な成績・活動業績が認められた個人・団体を表彰する「学生文化奨励賞」を受賞した学生を紹介します。

奮闘する岡大生たちの活躍に、今後もご期待ください！



令和2年度
学生文化奨励賞

岡山大学校友会活動に
おける多大な貢献

校友会文化会総務委員長

原田 菜々子さん

文学部 4年

前年度に改正された予算制度の調整やコロナ禍での部活動に関する協議を行うなど、校友会の円滑な運営のために努めました。「例年通り」が通用しない状況下でも、多くの方々の協力のおかげで新たな道を模索することができました。

令和2年度 学生スポーツ賞 スポーツ奨励賞

漕艇部

●第64回 中国学生ボート選手権大会



※写真左 清野 雄大さん

理学部 3年

男子シングル
スカル
第2位



このような賞を頂けたことで、自分たちが部活を頑張っていることをちゃんと見てくれている人がいることを改めて実感することができました。コロナ禍で大変な状況ですが、応援してくれている人たちのためにも、これからも頑張っていきたいと思います。

●関西学生秋季選手権代替特別大会



堀江 里彩さん

環境理工学部 3年

岡崎 あやさん

文学部 3年

女子ダブル
スカル
第2位



※写真左:岡崎さん 右:堀江さん

スポーツ奨励賞をいただくことができるとは思っておらず、大変光栄です。私たちは今年10月の大会を最後に引退するのですが、結果を残せるよう練習に励みたいと思います。応援よろしくお願いします。(岡崎)
この度は、スポーツ奨励賞を頂戴し光栄に思います。今年の10月末には、全国大会があります。残された練習期間を意味のあるものにし、私たちにとって、悔いの残らない大会にしたいと思います。応援よろしくお願いします。(堀江)

令和2年度 学生スポーツ賞 スポーツ貢献賞

校友会活動への 多大な貢献

校友会体育会総務委員長

山口 優さん

経済学部 4年



昨年度、校友会クラブ全体の統括として活動しました。コロナ禍という例年通りではないレギュラーな状況の中で総務委員会のメンバーと協力して行った様々な新しい企画や制度を評価していただき大変うれしく思います！

ヨット部

●第85回 全日本学生ヨット選手権体大会 ●2020年度 全日本学生ヨット個人選手権大会



※写真右 西 隆宏さん

工学部 4年

2020年度の大会では全国大会に出場はできたものの、全国ではよい結果を残す事が出来ませんでした。次は私の部活動最後の年なので、4年間の集大成として全日本インカレで結果を残せるよう頑張ります。



※写真左 草本 涼さん

経済学部 4年

受賞する事ができ、大変嬉しく思っております。コロナ禍で練習もままならない環境ではありますが、この経験を糧に、目標とする全日本インカレ入賞に向けて精一杯取り組んで参ります。

スナイプクラス 全国大会出場

田井 佑樹さん

工学部 4年

受賞させて頂き、嬉しく思います。現在は、緊急事態宣言などにより活動が制限されていますが、私たちの目標である全日本インカレ入賞を目指し、日々練習に励んでいきたいと思います。

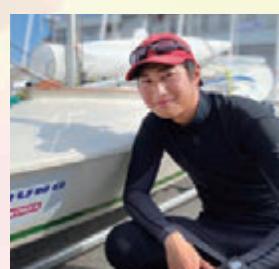


スナイプクラス 全国大会出場

宮本 泰成さん

農学部 4年

受賞させていただき大変嬉しく思っています。しかし、ヨット部の目標は全日インカレ入賞であり、まだ結果に満足していないのでさらに高みを目指して練習に励みたいと思います。



令和2年度 学生文化奨励賞



越智さん

ラジオ
番組部門
1位
映像CM部門
2位

第37回 NHK全国大学放送コンテスト

放送文化部 越智 悠葵さん 法学部 3年

コロナ禍でひとりの時間が増え、自分自身や『放送』の活動と、より深く見つめ合いました。そして、周りの人の大切さも再認識できました。これからも、自分を愛し、周囲に感謝して過ごしていきたいです。(※詳細はP7へ)

岡山大学は、SDGs推進研究大学として、地域や企業の皆さま方とのパートナーシップをもとに様々な協働活動に取り組んできました。

令和3年4月の新工学部の誕生に続き、皆さまとの協働を一層充実させる「共育共創コモンズ」を岡山大学キャンパス内に建設します。

監修は、世界的な建築家であり、本学の特別招聘教授としてご指導ご支援をお願いしている隈研吾氏です。

地域の産業活性化のための新たな交流と共創の場として、300人収容の大規模講義室と共同研究拠点としての「共創ラボ」機能が重点的に設計されています。

「共育共創コモンズ」の建設を契機に、アフター「コロナ時代に向けて、「ありたい未来を共に育み、共に創る研究大学」を目指していきます。

「共育共創コモンズ」

ありたい未来を共に育み、共に創る

建築家・隈研吾氏監修

令和4年11月
完成予定!

岡山の
新たな
シンボル

CLT現しによる、
木の温もりに包まれる
空間を創出

天井高5mの講義室

共同プロジェクト、
共同研究のための
共創スペース

2つの三角形のガラス屋根が
演出する明るいホワイエ

スパン18mの大はりをCLTで実現

ホワイエ、講義室に通じる
幅3.6mの外階段

模型作成・提供：岡山大学特別招聘教授 隈 研吾

- 建物概要／木造2階建て、延べ床面積約810㎡、講義室・企業との共同研究室・レンタルラボ等
- 総事業費／約5億円（物品整備等経費含む）
- 建設場所／岡山大学津島キャンパス東門正面より北に約150m



Photo © J.C. Carbone

Special message

岡山大学特別招聘教授 隈 研吾 氏

岡山大学共育共創コモンズは、CLTを活用した木造建築物の可能性を追究しました。岡山大学の学生が、いろいろな人のいろいろな意見や価値観を受け止めることのできる、大きくてやさしい人になってほしい願いを込めて設計しています。建築物は大きいけれど、その仕事はたくさん的人が協力して、小さなことの積み重ねでできていることを、この原寸大の教材から学んでください。

20世紀は、「密なハコ」にたくさんの人間を詰め込むことで効率を追求してきました。コロナの疫病は、それが人の幸せにつながらないことに気づかせてくれました。コロナの後を生きるみなさんは、この「木のハコ」で、人が本当に幸せになれる新しい生き方を考えてください。

「共育共創コモンズ」は、
カーボンニュートラル・脱炭素社会に貢献する
環境に優しい、CLTを活用した木造建築です。

What's CLT?

CLT(Cross Laminated Timber)は、ひき板を並べた後、繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料です。これまでの木造建築は戸建住宅等の小規模建築が主でしたが、CLTは大規模建築を可能とします。森のような温かみと清々しさを感じる空間を実現します。



一般社団法人日本CLT協会 提供

「共育共創コモンズ」は、みんなのイノベーション空間です。

- 最新のデジタル技術に関する講座やワークショップ
- 社会人と学生がともにアイデアを競いあうハッカソン
- 共同プロジェクトから機密性の高い共同研究
- etc



※講義室のイメージ(2階)

共育共創コモンズ建設へ向けてのご寄付のお願い



地域や企業の皆さんと、交流し学び合い、新たな知を生む「岡山の新しいシンボル」の建設に向け、ご寄付を広く募っています。ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。(岡山大学学都基金)

【募集期間】令和3年6月11日～令和4年8月31日

【募金目標額】1億円

※本事業へのご寄付は、所得税法、法人税法による税制上の優遇措置が受けられます。



企業の人事担当者から見た 大学イメージランキングで、岡山大学が 中国・四国1位に！

RANKING

日経HRと日本経済新聞社による、「企業の人事担当者から見た大学イメージ調査2022年度版」で、中国・四国地域において岡山大学が総合ランク1位(全国17位)に輝きました。調査は、2019年4月～2021年3月に新卒社員として各企業が採用した正社員の出身校から人数の多い上位10校を挙げ、その上で各大学の学生のイメージについて「行動力」「対人力」「知力・学力」「独創性」の4つの側面で評価されました。

本学は、「知力・学力」や「独創性」が評価され、全国順位も前年41位から大幅に上がりました。人事担当者からは、「素直で、地頭がよく理解が早い」「真面目で、努力家」などの声があがりました。

岡山大学病院にECMOを搭載できる 大型救急搬送車「ドクターカー」を配備

NEW SYSTEM

8月31日、人工心肺装置「ECMO(エクモ)」を搭載できる大型の救急搬送車「ドクターカー」を配備しました。当院の調べでは、全国で同様のドクターカーは現在10台あり、中国・四国地方では初めての導入となります。重症呼吸不全などの患者が発生した場合、ECMO装着を行った状態でドクターカーでの広域搬送が可能となります。当院では今後、要請に迅速に応えられるよう、体制を整えていきます。

このたび配備したドクターカーは、医師や看護師、臨床工学技士などの医療従事者が乗り込み活動を行います。一般的な救急車よりも車内が広くなっています。ECMOなどの高度医療機器を用いた重症患者さんの搬送に使用することができます。車内にはECMOを含め、自動体外式除細動器(AED)や自動心臓マッサージシステム、人工呼吸器などの医療機器を整備し、搬送時から早期に治療介入ができるよう、整備を進めていく予定です。

車両は、公益財団法人「日本財団」からの助成金を活用して購入しました。車体外観の装飾は、岡山大学病院の職員による広報チーム「岡大病院“Face”活性化ミーティング」メンバーの本多寛之医師(総合内科・総合診療科)のデザインで、波のような曲線は船舶の航走波をイメージしており、ドクターカーがスピード一気に移動する様子を表しています。

2022年度から本格的な導入を目指して、岡山県内はもちろん、近隣県で重症患者が発生した場合に、広域搬送ができるよう体制を構築していく予定です。

OKAYAMA
UNIVERSITY
NAVIGATION

OU NAVI

法学部公認サークル「岡山大学法友会」が、 消費者庁「消費者支援功労者表彰」の 内閣総理大臣表彰に選ばれました

AWARD

消費者利益の擁護・増進のために活躍する方々を表彰する、消費者庁の令和3年度「消費者支援功労者表彰」が4月28日発表され、法学部公認サークル「岡山大学法友会」が、筆頭となる内閣



総理大臣表彰に選ばれました。本表彰は消費者支援活動の奨励のため、平成23年度の消費者庁創設から毎年行われています。

法友会は現在47人で、平成29年度から、近隣の中学校・高校に出向き継続して法教育・消費者教育を実施。授業では岡山県消費生活センターの教材を用い、「コンサートチケットをダフ屋から購入することが法的に問題になるか」「ネット上のどのような書き込みが法的に問題になるか」といった事例について、ロールプレイやグループワークを交えながら授業を展開しています。今回、地域社会の消費者教育に貢献してきたことが高く評価され、消費者支援功労者表彰の中でも、極めて顕著な功績があったと認められる個人・団体に授与される「内閣総理大臣表彰」の受賞が決まりました。

文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」に認定

CERTIFICATION

6月30日、本学の数理・データサイエンス教育の取組の一部が、文部科学省より「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」に認定されました。

この認定制度は、内閣府・文部科学省・経済産業省の3府省が連携して設けられています。大学等の正規の課程であって、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、かつ、数理・データサイエンス・AIを適切に理解し、それを活用する基礎的な能力を育成することを目的として、数理・データサイエンス・AIに関する知識及び技術について体系的な教育を行うものを文部科学大臣が認定及び選定して奨励するものです。

岡山大学は、令和元年度から「文系から理系までの学生を幅広く対象とする数理・データサイエンス教育プログラム」を展開しており、この度の第1回認定において、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」11校のうちの1校に認定されました。

数理・データサイエンス・AI
教育プログラム認定制度
リテラシーレベル

武田／モデルナ社 新型コロナワクチン接種後副反応調査最終報告

～男女半々の若い世代を対象とした2回目接種はどのような結果なのか～

REPORT

新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種に関して、一般の方へ正確な情報提供を行うことを目的に、大学拠点接種として岡山大学で行われた、武田／モデルナ社新型コロナワクチンの副反応調査を実施しました。岡山大学教職員及び学生の合計7,205人が副反応調査に回答しました。

2回目接種後は、局所反応として、接種局所の痛みが90.0%、腫脹が55.3%に出現。遅延性皮膚反応とみられる接種後7日目前後での局所の腫脹や発赤は、1回目接種後に2~3%前後に出現しましたが、2回目接種後にはほとんど認められませんでした。

2回目接種では、1回目と比較して全身反応の出現頻度が高く、筋肉痛が64.4%、倦怠感が84.2%、頭痛が74.7%、37.5度以上の発熱は88.0%で出現。若い世代で発熱の出現頻度が高い傾向で、40代以下では90%前後に発熱が出現しましたが、一方60代以上でも75.4%に発熱が出現しました。

女性では男性に比べて副反応が若干高い傾向(例:発熱で約2%差)でした。妊娠や基礎疾患があることで、副反応出現頻度が高まる傾向ではなく、アレルギー歴があっても微増程度でした。また、武田／モデルナ社ワクチンの副反応出現割合は、岡山県内の5病院で実施したファイザーワクチンの接種後副反応調査結果よりも高く、若い世代(20歳代以下)で比較しても、同様の傾向にありました。

厚生労働省の研究班でも副反応調査が行われていますが、その対象者は男性数が多く幅広い年代にわたっている自衛隊職員が対象であり、本調査の対象は男女半々で、若い方が多く含まれているため、厚生労働省の研究班の知見と相補的に働くと思われます。



報告をまとめた学術研究院医歯薬学域
鶴藤 貴志 教授

大学の動き(2021年3月～8月)

2021
3月

- 10日 ● 「SDGs推進表彰(President Award)」表彰式を挙行
- 15日 ● 異分野基礎科学研究所の沈副所長・教授が
日本植物生理学会賞を受賞
- 25日 ● 令和2年度岡山大学学位記等授与式を挙行
- 29日 ● 医学部・大学院医歯薬学総合研究科、岡山大学病院が
笠岡市、笠岡市立市民病院と地域医療に関する協定を締結

4月

- 2日 ● 令和3年度岡山大学入学式及び大学院入学式、
第4回金光賞授賞式を開催
- 21日 ● 「THEインパクトランキング2021」公表
総合ランキングで世界トップ200位以内、国内同列1位に
- 22日 ● 株式会社アン・ドゥーと連携・協力に関する協定を締結

5月

- 20日 ● 岡山県商工会連合会と連携・協力に関する協定を締結

6月

- 11日 ● 隈研吾特別招聘教授による
新工学部設立記念講演会を開催

8月

- 6日 ● 岡山大学Webオープンキャンパス(オンデマンド方式)
の動画を公開
- 19日 ● 国連平和大学との協定締結式典を開催
- 31日 ● JETROと岡山県商工会議所連合会との
三者包括連携協定を締結



岡山大学文明動態学研究所開所式を挙行

ESTABLISHMENT

本学は令和3年4月、4番目の研究所となる岡山大学文明動態学研究所を新設し、4月14日開所式を挙行しました。開所式には横野博史学長、高橋香代理事(企画・評価・総務担当)、松本直子文明動態学研究所長ら教職員約20人が出席しました。

横野学長は「多様なパートナーシップで文理横断的な研究の発展、国際的人材交流、地域社会との連携が促進されることを期待しています」、松本研究所長は「さまざまな分野の連携により、課題解決の糸口が見えてくる。文明動態学という新しい学問を全国、そして世界に広げていきたい」と話しました。

本研究所では、考古学、歴史学、人類学、経済学、社会学、哲学等の人文社会科学を核とし、本学および国内外諸機関の地質学、生物学、化学、物理学、神経科学、情報科学等の研究者との緊密な連携のもとに入類文明の来し方・行く末を探求します。



岡山大学異分野基礎科学研究所竣工式を挙行

ESTABLISHMENT

3月に本学異分野基礎科学研究所棟の新営工事が完了し、5月12日、新棟の竣工式を挙行しました。式には横野博史学長、高橋香代理事(企画・評価・総務担当)、那須保友理事(研究担当)・副学長、鶴田健二学術研究院自然科学学域長、市岡優典理学部長、高橋裕一郎異分野基礎科学研究所長ほか、教職員約40人が出席しました。

異分野基礎科学研究所は、本学においてこれまで活発に展開してきた量子宇宙研究、光合成・構造生物学研究ならびに超伝導・機能材料研究を、統一的かつ組織的に遂行するため平成28年に設置された研究所です。

これまで独立して取り組んできたこれらの研究テーマを、異なる分野の研究者の視点を融合し、新たな学問体系を構築することを目指しています。

1枚の写真から紐解く、岡大の歴史。
誰かにそっと教えてくなる…そんなエピソードとともに紹介します。

岡大 OU Pictorial History

モノクローム #01



いちょう並木 (昭和43年)

初夏には深い緑、秋には黄金色に輝く南北通りのいちょう並木。
地域の皆さんにも、散歩道、撮影スポットとして親しまれています。
約50本のいちょうの木は、林道倫初代学長が昭和27年7月に退官した際、寄贈したもの。
林先生は、東京帝大卒業、ドイツに3年間留学した後、当時の岡山医科大学精神科教授に就任しました。
日本脳炎研究や統合失調症の生化学的研究で高名です。
博識は古今東西に及び、概念明晰、論旨透徹であったといいます。
「すべて過ぎ去たことは一つの譬喻にしかすぎない」という言葉を遺しています。
(参考:林道倫論文集)



岡山大学広報 いちょう並木

より良い広報誌を作成するために、皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしております。

発 行：岡山大学 総務・企画部 広報課

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号

Tel. 086-252-1111 Fax. 086-251-7294

E-mail www.adm.okayama-u.ac.jp

<https://www.okayama-u.ac.jp>

岡山大学

検索



アンケート実施中!
先着5名様に
「基礎から学ぶノーコード開発」
プレゼント!

